



みなみの風5月号

【発行日】
令和6年5月23日
【発行者】学校長

《学校教育目標》 自ら学び、心豊かに、たくましく生きる子の育成
重点目標 「生き生きわくわく」～言葉を大切に、豊かな関わり・確かなつながりをとおして～

新年度に入り、不思議なことに月曜日が雨のことが多く、天候面において晴れやかな気持ちで週がはじまることが少ない今日この頃ではないでしょうか。しかしながら、子どもたちは気持ちよく朝の挨拶をする子が多くなり、私自身はうれしい気持ちで月曜日が始まっています。たかが挨拶、されど挨拶。目を合わせる子も増えてきて、さすが「すてきさん」が集う開成南小です。これからも、挨拶に注目していきます。

日光修学旅行が無事実施されました！

6年生にとってまた一つ思い出が増えて…【5月9～10日】

今年度も日光修学旅行が実施され、本校の6年生は、日光の歴史と文化に触れ、加えて仲間との思い出づくりを満喫してきました。今回もバス移動としましたが、大きな渋滞に巻き込まれることなく、むしろ帰路については予定より早めに学校に到着したほどでした。修学旅行団としては、他校は8日から始まっており、分団によっては、天候に恵まれないところもあったようです。幸いなことに本校は、出発時こそ雨でしたが、徐々に回復し、2日目は絶好の旅行日和となりました。日頃から最上級生としてがんばっている6年生に対するプレゼントだったのかもしれませんが。

さて、今号では3名の担任の先生から提供された写真を掲載し、全校の保護者の皆様と幸せを共有したいと思います。6年生の保護者の皆様には、準備の段階から当日まで、数多くのご支援をいただきありがとうございました。



華厳の滝は、水不足…



日光に向けて出発！



たくさん交流できました



硫黄のおいが厳しい！



食事也大満足！



人工美を感じる東照宮陽明門

懇談会にお越しいただき ありがとうございました

4月19日に実施された懇談会には、多くの保護者の皆様にお越しいただきありがとうございました。

年度当初の行事計画において、今回は懇談会のみということを知り、「保護者の参加が少ないのでは…」と感じていたところ、教頭先生から、「たくさんお越し頂けます」という力強い言葉のとおりで、とても嬉しく思いました。

学校は、教職員のものではなく、子どもたち、保護者、そして地域のものであると私は考えます。ぜひ、様々な面でご理解とご協力をいただき、子どもたちが「明日も行きたくなる学校」、保護者が「明日も行かせたくなる学校」、そして地域が「支援したくなる学校」を目指していきたいと思います。



↓1年生の懇談会の様子



↑3年生の懇談会の様子

全国学力・学習状況調査

【令和6年4月18日・23日】

今年度も、小学校では6年生を対象に調査が実施されました。今回は、国語と算数を4月18日に、質問紙調査については、オンラインで実施することができ、タブレットで実施しました。

さて、国語と算数については、その日のうちにある一クラスの解答状況を確認し、成果と課題を整理しました。その内容を教職員間で共有し、各学年の指導にスピード感をもって活用していきます。

今回の調査から、学んだことをいかに日常生活に生かしていくかを問われていることが確認できました。アウトプットの大切さを痛感しています。

命はリセットされない 交通安全教室【3年】

3年生を対象に、松田警察署の方をお招きして、交通安全教室が実施されました。

3年生の子どもたちは、真剣に話を聞き、自分たちがすべきことを吸収していたと感じました。

さて、このところ、小学生が交通事故に巻き込まれたという報道が次々と聞こえてきます。交通事故は、事故にあった当該者のみならずその家族、また

事故を誘発してしまったいわゆる加害者もその後の人生が大きく狂うことになり、本当に誰一人幸せになることはありません。自分に置き換えて考えると、怖くなります。開成町は、町を挙げて交通安全に注力していることは周知のところですが、学校としても、3つの「あ」の一つである「あんぜん」を継続して指導していきます。



【お知らせ】 「小・中学校の教科書展示会」が開催されます

教科書展示会は、昭和23年の検定教科書制度の実施に伴い、教科書の適正な採択に役立たせるため、また、教育関係者の教科書研究の便宜と教科書見本の効率的運用を図るため「教科書の発行に関する臨時措置法」により設けられた制度です。

神奈川県教育委員会では、次により小・中学校の教科書を展示し、一般に公開しています。

*期間及び時間 令和6年6月14日(金)～令和6年7月3日(水)

午前9時～午後5時 <ただし、土・日曜日を除く>

*展示会場 足柄上合同庁舎 5階東側大会議室 B

小田原合同庁舎 2階2FG会議室及び3階教科書センター

*展示物 小学校用教科書 中学校用教科書 ほか

「子育てアラカルト① ～舞台と楽屋～」

学級担任時、4月下旬あたりに家庭訪問をさせていただいた時のことです。保護者の方に、学校で頑張っている様子をお伝えすると、一定数のご家庭から「そうなんですね。でも家ではさっぱりで、なかなか言うことを聞かなくて困っているんですよ。」と返されました。ということは、子どもは学校では多くの人のなかかわりの中で自分の存在を確立しようと努力し、家ではその反動で力が抜けていると捉えることもできます。確かに、保護者としては学校と家での我が子の姿のギャップに嘆き驚き、家でも同じように頑張してほしいと思われるのかもしれませんが、子どもたちの姿は自然なことなのかもしれません。つまり、自分をよく見せようとする学校を「舞台」ととらえ、ありのままよい安心感のある家庭を「楽屋」ととらえると納得ができます。ずっと舞台上で張りつめていると、徐々に疲れ果ててしまうことでしょうか。舞台に立つためには、その前後の楽屋(家庭)で過ごす時間が貴重なのではないのでしょうか。

もちろん、家庭において予習・復習等の学習の時間も大切ですが、ぜひ保護者の方々には、「今日、学校でね、～」とお子さんが話をしたくなる時間を保障していただければと思います。その話は、よいことだけではなく、苦しかったことや嫌だったこともあると思いますが、遮ることなく、最後までじっくり聞くことがすてきな子育ての一つなのかもしれません。